

□ 主な内容

【第 35 回 EST 創発セミナー in はだの〔関東〕の参加者募集中！】

10 月 31 日 (火) に秦野市で第 35 回 EST 創発セミナー〔関東〕を開催します。皆様からのご参加をお待ちしています。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu51.html>

【第 9 回 EST 交通環境大賞の応募を募集中！】

地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集をしています。〔応募締切: 10 月 2 日〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2017.html>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 134 回)

●「持続する交通はわくわくする交通？」

【山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 鈴木春菜】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 134 回)

●「資本市場が環境対策を後押し」

【株式会社みちのりホールディングス 代表取締役 松本順】

3. ニュース／トピック

●第 9 回 EST 交通環境大賞の応募を開始【EST 普及推進委員会】

●第 24 回鉄道フェスティバルについて【国土交通省】

●平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の 3 次公募について【環境省】

●岩見沢市の地域公共交通再編実施計画の認定について【北海道運輸局】

●コミュニティバス「ぐるっとかつらぎ」2017 キャンペーンについて【葛城市】

●市内一斉ノーマイカーウィークについて【守谷市】

●パークアンドライド・サイクルライドの実施について【奈良市】

●「ひと・もの協働輸送(客貨混載)」で新たな輸送スキームを構築【ヤマト運輸株式会社】

●TOYOTA LONGPASS EXPRESS を活用したモーダルシフトの開始について【佐川急便株式会社】

●佐賀県でのカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」開始について【タイムズ 24 株式会社】

4. イベント情報

- 第 35 回 EST 創発セミナーinはだの〔関東〕【2017/10/31】
- 第 7 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(金沢)【2017/10/11-13】
- 京都スマートシティエキスポ 2017【2017/9/28,29】
- レイルフェスタ九州 2017【2017/10/7】
- 第 24 回「鉄道フェスティバル」【2017/10/7,8】
- 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017【2017/10/28,29】
- 第 24 回 ITS 世界会議モントリオール 2017【2017/10/29-11/2】
- 第 15 回 ITS シンポジウム 2017【2017/12/7,8】
- エコプロダクツ 2017【2017/12/7-12/9】
- 第 13 回全国路面電車サミット【2018/1/13,14】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 134 回)

●「持続する交通はわくわくする交通？」

【山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 鈴木春菜】

どれほど理想的な交通システムであっても、「環境にいいから」「地域のために必要だから」「健康にいいから」というような理由で「我慢」を強いるような行動は続きません。そのような交通システムは、メカニズムとしては持続可能であっても、利用者を含めたシステムとしては持続的とはいえません。論理だけでなく感情的にも人を動かす、わくわくする交通システムが必要です。筆者が関わっているそんなわくわくする交通に向けた、公共交通利用促進の取り組みをご紹介します。

● 駅舎アートプロジェクト

宇部市の宇部線草江駅で、アーティストを招いて無人駅の駅舎をアート作品にする取り組みが実施されました。招かれたアーティストの指揮のもと、市と地域・JR が一体となり協力して駅舎が完成し、今年 23 日に除幕式が行われました。取り組みの費用の一部はクラウドファンディングを用いて用意されました。プロジェクトの実施が決まって以降、地域住民によって駅の清掃活動や美化活動が行われ、製作に参加した多くの住民と JR 職員が、駅と路線への愛着を深めていました。「私たちの誇れる駅」となった草江駅が、今後利用者を増やしてくれることが期待されます。

● バスマスティーオリエンテーリング

宇部市交通局が夏休みに子供向けに実施している取り組みで、5 年前から実施されています。日頃バスに乗ることの少ない小学生や保護者を対象に、ゲーム形式で市内各所を路線バスでめぐってもらい、バスに親しみを持ってもらうことを目的に実施されています。スタート地点で指令を出すのは謎の男「バスマン」。彼が一番このツアーを楽しんでいるとか。主催者にはなるべく多くの子どもたちにバスに触れてもらいたいとの思いがあるようですが、リピーターも多く、すぐ売り切れてしまうのが少し悩ましいそうです。普段バスにほとんど乗らない子どもが楽しくバスの乗り方を学び、参加後にはもっとバスに乗りたいという子も少なくないそうです。

● 幸せのハートのつり革プロジェクト

山口県内で 3 年前から実施されている取り組みで、縁結びの神社で参拝をしたハート形のつり革を県内路線バスにリレー方式で取り付けています。ハートのつり革を取り入れている公共交通は全国にいくつかありますが、県内全域の事業者が連携し、県内でたった 2 つ(昨年からは 1 つ増えて 3 つ)しか遭遇できないほど希少価値が高いのはここだけではないでしょうか。(実は予算の都合で少ししか製作できなかったのですが。)

大切なのは、これらの取り組みが人を楽しませるためだけの「面白そうなプロジェクト」ではな

かったということです。筆者は、プロジェクトが芽生える現場のいくつかに立ち会いました。これらの取り組みは「やらなければならないプロジェクト」ではなく、担当者が真剣に地域と交通のことを考えて悩み議論しつつ、しかし楽しみながら着想した「やりたい！プロジェクト」でした。そのエネルギーが、プロジェクトを推し進め、利用者の愉しみを創出していました。また、多くの調整や辛い判断を必要とする他の業務を乗り越える原動力ともなっているようでした。

EV の普及や自動運転の出現など、交通を取り巻く環境が大きく変わるなか、担当者のモチベーションを支える、という点も持続的な交通の実現に不可欠でしょう。運行者や販売者がわくわくし、利用者もわくわくする、交通。持続的な交通に必要な要件ではないでしょうか。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 134 回)

●「資本市場が環境対策を後押し」

【株式会社みちのりホールディングス 代表取締役 松本順】

世界最大の年金基金である GPIF が ESG (環境・社会・統治) 指数を活用した投資を一兆円規模で開始すると表明したことに続いて ESG 投信が東証に上場することも決定し、環境への配慮が市場の企業価値評価に影響を及ぼす世界的潮流がわが国にも及び始めた。

資本市場のプレーヤーが長期のリターンを追及する上で環境問題との相関が不可避と気付いたことは、環境対策が単なるコストの増加に過ぎないと考えていた経営者に対し、今後のかじ取りの中で環境対応の優先度を上げる勇気を与える。実は私はこれまで何度かエコモ財団のイベントに出席し、その都度 EST の E は environment の E であると共に economics の E であるはずだと申し上げてきた。つまり、わが国の交通を担う民間事業の経営者にとって経済性の伴わない環境対策投資は元来困難なのだ。しかしこうして少なくともストック経済において環境と経済が結び付いたことは、交通事業の領域においても環境対策投資の増加を後押しするだろう。

そのような中で、バスというテーマに限ってただ今現在の状況を見た場合、日本のバスにおける環境適応はそのスピードが非常に遅い。ご存知の方も多いと思うが、欧州の大規模空港の構内バスはほとんどが EV 化されているし、中国の深セン市には EV バスが 1 万 4 千台余存在し(!)、公共バスの 9 割を占めるという。石炭火力の発電依存度の高い国でバスを電動化してもトータルの炭素消費は多いままというシニカルな意見も聞くが、欧州を見てもモビリティの電動化が明らかに先行している。ちなみに深セン市に EV バスを提供する中国のメーカーは、日本でも右ハンドルの中型 EV バス(航続距離 150 キロ、充電時間 2 時間)を提供可能とのことであり、ロンドンでは既にそのメーカーの EV バスが走っている。(しかも、インホイールモーター型だから車内床はフラットであろう。)私どもは 5 年前に岩手県宮古市で日本製中古車のエンジンをモーターに載せ替えた EV バスを導入し、今でもそのバスは順調に走行している。ただし、航続距離は 40 キロ程度。バッテリーも含めてこの領域の技術的進歩はほぼユニバーサルに活用が可能であり、環境性能強化の領域でのこれからの日本のバスメーカーの動きを注視したい。私どもはオペレーターとして、環境適応車両の社会実装に協力を惜しまないつもりである。

3. ニュース／トピック

●第9回 EST 交通環境大賞の応募を開始【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集を開始しました。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2017.html>

●第24回鉄道フェスティバルについて【国土交通省】

国土交通省では明治5年(1872年)10月14日新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業したことを受け、それから122年後の平成6年、その誕生と発展を記念し、毎年10月14日を「鉄道の日」と決めました。鉄道が国民に広く愛され、その役割についての理解と関心がより深まることを願い、鉄道事業者、関係団体、国などが「鉄道の日」実行委員会を組織し、毎年多彩な行事を全国各地で実施しております。

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk1_000004.html

●平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の3次公募について【環境省】

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業)の執行団体である一般社団法人低炭素社会創出促進協会が、当該補助金の3次公募を開始しました。

<http://www.env.go.jp/press/104537.html>

●岩見沢市の地域公共交通再編実施計画の認定について【北海道運輸局】

岩見沢市では、昨年6月に「岩見沢市地域公共交通網形成計画」を策定していましたが、その内、バス路線網等の再編について具体的に定めた「岩見沢市地域公共交通再編実施計画」の認定申請が北海道運輸局に対して提出され、認定を行いました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/201709/20170908.pdf>

●コミュニティバス「ぐるっとかつらぎ」2017 キャンペーンについて【葛城市】

9月1日から12月27日の間、コミュニティバス「ぐるっとかつらぎ」を利用して、「運賃支払済証」を提示すると寺院等での拝観料割引などの特典を受けることができます。

<http://www.city.katsuragi.nara.jp/index.cfm/11,28500,23,361.html>

●市内一斉ノーマイカーウィークについて【守谷市】

守谷市では、平成 29 年 9 月 30 日(土曜日)から 10 月 6 日(金曜日)の 1 週間に市内一斉ノーマイカーウィークを実施いたします。この取り組みは、地球温暖化防止や二酸化炭素排出量削減を目的としています。マイカーの利用を自粛し、公共交通機関をご利用ください。9 月 30 日(土曜日)、10 月 1 日(日曜日)はモコバスの運賃が無料になります。

<http://www.city.moriya.ibaraki.jp/kurashi/kankyo/hozen/nomycarweek.html>

●パークアンドライド・サイクルライドの実施について【奈良市】

奈良市では、秋の観光シーズンにおける奈良公園周辺の交通渋滞を緩和するため、奈良市役所駐車場でパークアンドライド・サイクルライドを実施します。

<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1346999426329/index.html>

●「ひと・もの協働輸送(客貨混載)」で新たな輸送スキームを構築【ヤマト運輸株式会社】

沿岸バス株式会社とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社および北海道天塩町は、8 月 28 日に三者による連携協定を締結しました。このたび、首都圏への翌日配達を実現し、農水産品などの高付加価値化や販路拡大による地方創生、バス路線網の生産性向上などを目的として 9 月 1 日より、天塩町～豊富町間の路線バスで「ひと・もの協働輸送(客貨混載)」を開始しました。

http://www.yamato-hd.co.jp/news/h29/h29_55_01news.html

●TOYOTA LONGPASS EXPRESS を活用したモーダルシフトの開始について【佐川急便株式会社】

SGホールディングスグループの佐川急便株式会社は、愛知県～岩手県の宅配便幹線輸送をトヨタ輸送株式会社が運行する TOYOTA LONGPASS EXPRESS を活用した異業種共同によるモーダルシフトで 9 月下旬から運用開始します。

http://www2.sagawa-exp.co.jp/newsrelease/detail/2017/0911_1263.html

●佐賀県でのカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」開始について【タイムズ 24 株式会社】

タイムズ 24 株式会社は、9 月 7 日(木)より、佐賀県においてカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の提供を開始しました。これにより、全都道府県展開のカーシェアリングサービスとなりました。

<http://www.times24.co.jp/news/2017/08/20170830-1.html>

4. イベント情報

- 第 35 回 EST 創発セミナーinはだの〔関東〕
日時:2017 年 10 月 31 日(火)13:15~16:50
場所:タウンニュースホール
主催:秦野市、国土交通省関東運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu51.html>

- 第 7 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(金沢)
日時:2017 年 10 月 11 日(水)~13 日(金)
場所:ITビジネスプラザ武蔵 6 階「交流室1」
主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省北陸信越運輸局
<http://www.estfukyu.jp/training2017.html>

- 京都スマートシティエキスポ 2017
日時:2017 年 9 月 28 日(木)10:00~17:10
2017 年 9 月 29 日(金)10:00~17:00
場所:けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか
主催:京都スマートシティエキスポ運営協議会
<https://expo.smartcity.kyoto/>

- レイルフェスタ九州 2017
日時:2017 年 10 月 7 日(土)
場所:南阿蘇鉄道沿線駅
主催:「鉄道の日」九州実行委員会
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20170914-keikakuka.pdf>

- 第 24 回「鉄道フェスティバル」
日時:2017 年 10 月 7 日(土)~8 日(日)
場所:日比谷公園・大噴水広場周辺
主催:「鉄道の日」実行委員会
http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000118.html

- 第 15 回フォーラム「交通政策基本法の展開」
日時:2017 年 10 月 12 日(木)
場所:中央大学駿河台記念館 480 号室
主催:人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)

http://www.yasashii-transport.net/n_doc/forum_20171012.pdf

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017

日時:2017年10月28日(土)、29日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第24回ITS世界会議モントリオール2017

日時:2017年10月29日(日)~11月2日(木)

場所:Le Palais des congrès de Montreal

主催:ITS America / ITS Canada

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/montreal-2017/

●第15回ITSシンポジウム2017

日時:2017年12月7日(木)~8日(金)

場所:九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、九州大学

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/15th2017/

●エコプロダクツ2017

日時:(1日目)2017年12月7日(木)10:00~18:00

(2日目)2017年12月8日(金)10:00~18:00

(3日目)2017年12月9日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/outline/000511.html>

●第13回全国路面電車サミット

日時:2018年1月13日(土)~14日(日)

場所:未定

主催:NPO法人 公共の交通ラクダ

共催:全国路面軌道連絡協議会・全国路面電車愛好支援団体協議会

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomom.or.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>